



第62期報 告 書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

ダイソーケミックス株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業につきまして、あたたかいご支援をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第62期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

現在、「構造改革プラン」の実現に向けて、邁進しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年 6 月

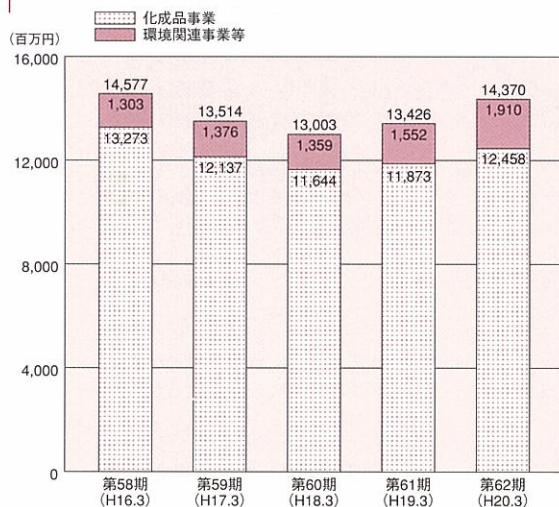


代表取締役

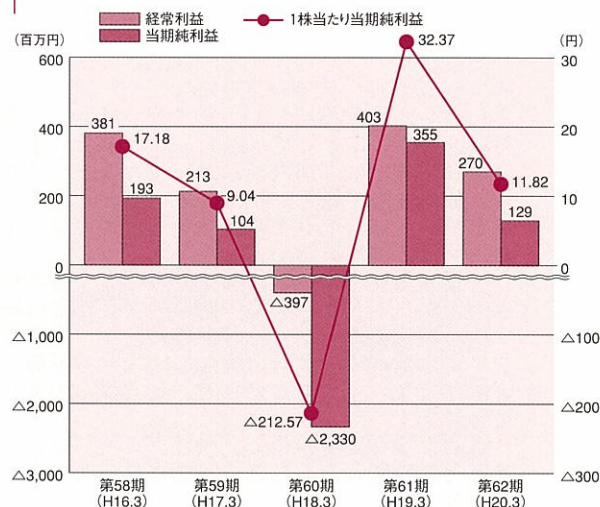
村 瀬 千 弘

業績の推移（連結）

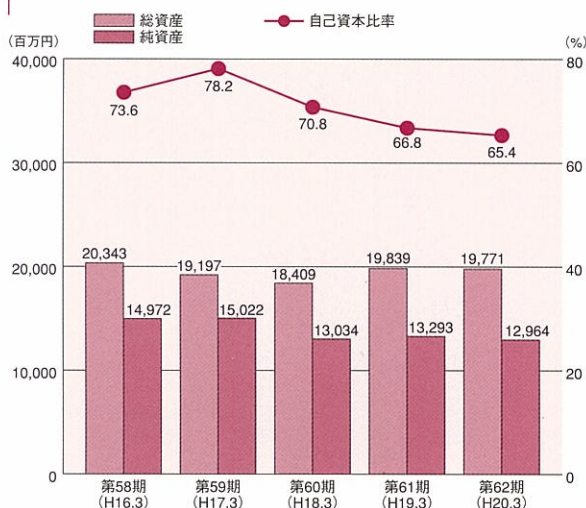
売上高



経常利益・当期純利益・1株当たり当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



研究開発人員・研究開発費



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の設備投資の増加により、景気は緩やかな拡大を続けてまいりましたが、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念や原油・原材料価格の高騰、急速な円高や株安等、不安な要素も見られました。

当社グループに関連する化成品事業におきまして、半導体業界では、地上波デジタル対応テレビ、デジタルカメラやDVDレコーダーなどのデジタル家電や情報関連機器向けの需要拡大が見られました。薄型テレビ分野では、需要は大幅に伸びましたが、薄型パネルの価格下落により、材料メーカーにとっては厳しい状況となりました。

写真業界では、国内外においてカラーフィルム、カラー印画紙の生産量は引き続き低下しており、依然として厳しい状況が続いております。レントゲン用フィルムの生産量は横ばい傾向にあります。一方、デジタルプリント分野では、インクジェット方式、昇華転写方式の需要拡大が見られ堅調に推移いたしました。

医薬品業界では、大型医薬品の相次ぐ特許切れと後発医薬品の市場参入もあり、新薬開発に拍車がかかっており、医薬中間体の受託機会は増えております。

環境関連業界では、地球温暖化防止の必要性が認識されるとともに、リユース、リサイクルなどによる地球環境負荷の軽減につながる分野への関心が強くなっております。しかし、廃棄物を発生させない生産方式の拡大、産業構造の変化、環境規制の強化などがあり、厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、営業活動に全力をあげるとともに、次世代対応の感光性材料の開発をはじめ、写真材料、医薬中間体の新製品開発および環境関連事業に積極的に取り組みました。

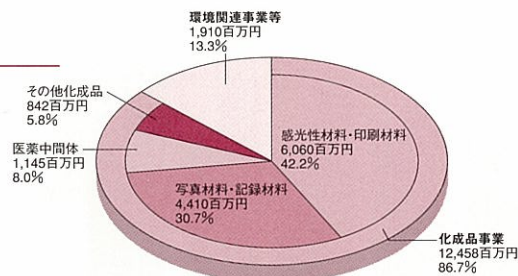
この結果、当連結会計年度の売上高は、化成品事業の感光性材料、医薬中間体および環境関連事業が堅調に推移し、前連結会計年度比7.0%増の143億70百万円となりました。

経常利益は、売上高の増加および原料価格の値下げ、経費の削減など売上原価低減に鋭意取り組みました。しかし、原油高による基礎原料の値上がり、製品値下げの影響を大きく受けました結果、2億70百万円（前連結会計年度比33.0%減）となりました。

当期純利益は、1億29百万円（前連結会計年度比63.5%減）となりました。

また、事業の展開にあたっては、環境保護を基本におき、使用資源の削減、回収、再資源化にグループをあげて、積極的に取り組んでまいります。

売上高構成比(連結)



事業別セグメント

【化成品事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比4.9%増の124億58百万円となりました。

① 感光性材料及び印刷材料

半導体用感光性材料は、g線・i線用材料およびエキシマ用材料において若干の値下がりがありましたが、販売数量が増加したことにより、売上高が増加いたしました。

液晶パネル用感光性材料は、値下がりがあったものの順調に販売数量が増加し、売上高は大きく増加いたしました。

この結果、感光性材料及び印刷材料の売上高は、前連結会計年度比7.6%増の60億60百万円となりました。

② 写真材料及び記録材料

写真材料は、イメージング材料、銀塩写真用材料、映画用材料および医療用材料のすべてにおいて値下がりがありましたが、銀塩写真用材料の特需を含め販売数量が増加したことにより、売上高は増加いたしました。

記録材料は、デジタル写真のプリント用材料が値下がりしたことにより、売上高は減少いたしました。

この結果、写真材料及び記録材料の売上高は、前連結会計年度比2.2%増の44億10百万円となりました。

③ 医薬中間体

医薬中間体は、主力製品の一部で販売数量が増加したこと、また、将来の新製品の柱となる試作品も計画以上の大きな成果をあげたことにより、売上高は増加いたしました。

この結果、医薬中間体の売上高は、前連結会計年度比7.9%増の11億45百万円となりました。

④ その他化成品

架橋剤は、繊維改質材の需要が堅調に推移したことから、販売数量、売上高ともに増加いたしました。しかし子会社であったダイソー技研株式会社の株式売却により、その売上が減少いたしました。

この結果、その他化成品の売上高は、前連結会計年度比2.5%減の8億42百万円となりました。

【環境関連事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比23.2%増の19億9百万円となりました。

環境関連事業は、産業廃棄物処理分野においては、液晶関連廃液の増加、主要得意先での一時的な廃液の増加などがあり、売上高は増加いたしました。化学品リサイクル分野でも、積極的な営業活動により新規受託品の拡大に努めた結果、売上高は増加いたしました。

なお、産業廃棄物の受託量の拡大に対応し、能力増強を目的に、大阪府岸和田市内に工場用地（10,204㎡）を取得いたしました。

【その他の事業】

その他の事業の売上高は、前連結会計年度比48.1%減の1百万円となりました。

感光性材料及び印刷材料



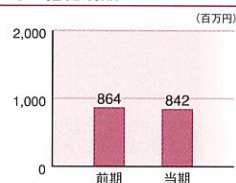
写真材料及び記録材料



医薬中間体



その他化成品



環境関連事業



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

POINT - 1

現金及び預金

工場用地取得および有価証券への運用により減少いたしました。

POINT - 2

有価証券

余資運用として割引短期国債等を購入したため、増加いたしました。

POINT - 3

土地

子会社日本エコロジー株式会社の工場用地取得により増加いたしました。

POINT - 4

投資その他の資産

株価の値下がりにより投資有価証券の時価評価が減少いたしました。

科 目	期 別	当 期	前 期
		平成20年 3月31日現在	平成19年 3月31日現在
(資 産 の 部)		(19,771)	(19,839)
流 動 資 産		10,302	10,591
1 現 金 及 び 預 金		1,660	3,473
受取手形及び売掛金		3,056	2,898
2 有 価 証 券		1,299	100
た な 卸 資 産		3,340	3,452
そ の 他		948	669
貸 倒 引 当 金		△ 3	△ 2
固 定 資 産		9,468	9,247
有 形 固 定 資 産		7,887	7,040
建 物 及 び 構 築 物		1,961	2,076
機 械 装 置 及 び 運 搬 具		1,992	2,089
3 土 地		3,303	2,350
そ の 他		630	523
無 形 固 定 資 産		7	7
4 投 資 そ の 他 の 資 産		1,573	2,200
資 産 合 計		19,771	19,839

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 期 平成20年3月31日現在	前 期 平成19年3月31日現在
(負 債 の 部)		(6,806)	(6,546)
流 動 負 債		3,031	2,427
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		894	819
短 期 借 入 金		560	326
未 払 金		757	630
賞 与 引 当 金		368	312
そ の 他		451	338
固 定 負 債		3,774	4,118
社 債		1,838	1,894
長 期 借 入 金		1,660	1,720
そ の 他		276	504
(純 資 産 の 部)		(12,964)	(13,293)
株 主 資 本		12,773	12,712
資 本 金		2,901	2,901
資 本 剰 余 金		4,421	4,421
利 益 剰 余 金		6,116	6,053
自 己 株 式		△ 665	△ 663
評 価 ・ 換 算 差 額 等		154	544
その他有価証券評価差額金		91	407
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		△ 60	26
為 替 換 算 調 整 勘 定		123	111
少 数 株 主 持 分		35	35
負 債 ・ 純 資 産 合 計		19,771	19,839

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 5

流動負債

1年以内返済予定の短期借入金および設備未払金が増加いたしました。

POINT - 6

その他有価証券評価差額金

株価の値下がりにより投資有価証券の時価評価が減少いたしました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

POINT - 1

特別利益

株式の売却により増加いたしました。

POINT - 2

特別損失

たな卸資産評価の低価法早期適用により増加いたしました。

科 目	期 別	当 期	前 期
		(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売 上 高		14,370	13,426
売 上 原 価		12,287	11,253
売 上 総 利 益		2,082	2,172
販売費及び一般管理費		1,587	1,597
営 業 利 益		494	575
営 業 外 収 益		80	62
営 業 外 費 用		304	234
経 常 利 益		270	403
1 特 別 利 益		109	—
2 特 別 損 失		256	16
税金等調整前当期純利益		123	387
法人税、住民税及び事業税		53	120
法人税等調整額		△ 58	△ 90
少数株主利益		△ 0	2
当 期 純 利 益		129	355

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		953	1,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,312	△ 1,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		49	1,067
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 3	9
現金及び現金同等物の増加額		△ 1,312	1,312
現金及び現金同等物の期首残高		3,573	2,260
現金及び現金同等物の期末残高		2,260	3,573

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当 期 (平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	2,901	4,421	6,053	△ 663	12,712	407	26	111	544	35	13,293
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 65		△ 65						△ 65
当期純利益			129		129						129
自己株式の取得				△ 3	△ 3						△ 3
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						△ 315	△ 87	12	△ 390	0	△ 389
連結会計年度中の変動額合計	—	0	63	△ 2	61	△ 315	△ 87	12	△ 390	0	△ 328
平成20年3月31日残高	2,901	4,421	6,116	△ 665	12,773	91	△ 60	123	154	35	12,964

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当 期 平成20年 3月31日現在	前 期 平成19年 3月31日現在
(資 産 の 部)	(18,605)	(18,673)
流 動 資 産	9,473	9,653
現金及び預金	1,322	3,086
売 掛 金	2,574	2,511
有 価 証 券	1,299	100
た な 卸 資 産	3,081	3,352
繰 延 税 金 資 産	430	304
そ の 他	765	298
固 定 資 産	9,131	9,019
有形固定資産	6,197	6,475
建 物	1,454	1,578
機 械 及 び 装 置	1,602	1,811
土 地	2,194	2,194
建 設 仮 勘 定	342	253
そ の 他	603	637
無形固定資産	6	6
投資その他の資産	2,927	2,537
資 産 合 計	18,605	18,673

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

期 別 科 目	当 期 平成20年 3月31日現在	前 期 平成19年 3月31日現在
(負 債 の 部)	(6,475)	(6,287)
流 動 負 債	2,778	2,245
買 掛 金	825	754
短 期 借 入 金	560	326
未 払 金	590	585
賞 与 引 当 金	280	235
そ の 他	522	342
固 定 負 債	3,696	4,042
社 債	1,838	1,894
長 期 借 入 金	1,660	1,720
そ の 他	198	428
(純 資 産 の 部)	(12,129)	(12,385)
株 主 資 本	12,098	11,951
資 本 金	2,901	2,901
資 本 剰 余 金	4,421	4,421
利 益 剰 余 金	5,441	5,291
自 己 株 式	△ 665	△ 663
評価・換算差額等	30	433
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,605	18,673

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 期	
		当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売 上 高		12,029	11,457
売 上 原 価		10,607	9,894
売 上 総 利 益		1,422	1,562
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,311	1,277
営 業 利 益		111	285
営 業 外 収 益		290	171
営 業 外 費 用		201	152
経 常 利 益		200	303
特 別 利 益		245	—
特 別 損 失		360	71
税 引 前 当 期 純 利 益		85	232
法人税、住民税及び事業税		△ 81	14
法人税等調整額		△ 48	△ 100
当 期 純 利 益		215	318

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当 期 (平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年3月31日残高	2,901	4,421	5,291	△ 663	11,951	433	12,385
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 65		△ 65		△ 65
別途積立金の取崩							—
当期純利益			215		215		215
自己株式の取得				△ 3	△ 3		△ 3
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						△ 402	△ 402
事業年度中の変動額合計	—	0	149	△ 2	147	△ 402	△ 255
平成20年3月31日残高	2,901	4,421	5,441	△ 665	12,098	30	12,129

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

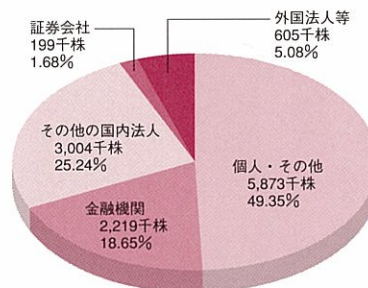
株式の総数・株主数

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,900,000株
株主数	864名

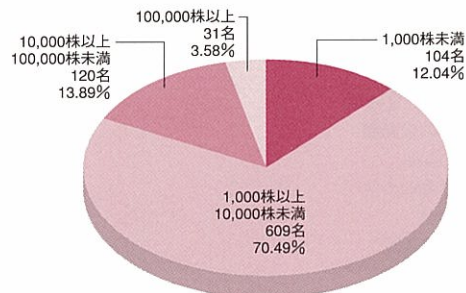
大株主

株主名	所有株式数	出資比率
東京応化工業株式会社	522 千株	4.39 %
日本生命保険相互会社	499	4.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	482	4.05
竹 中 一 雄	475	4.00
富士フイルム株式会社	439	3.69
ダイソーケミックス社員持株会	437	3.68
株式会社三井住友銀行	371	3.12
住友商事株式会社	336	2.83
農 林 中 央 金 庫	247	2.08
エスアイエス セガ インターセトル エージ	243	2.04

所有者別株式分布状況



所有株数別株主分布状況



グループ会社製品紹介

岩手ケミカル株式会社



住 所：〒028-1113

岩手県上閉伊郡大槌町須賀町2番2号

(問い合わせ先)

T E L：0193-42-7221

e-mail：icchpform@iwate-chemical.com

U R L：http://www.iwate-chemical.com/

岩手ケミカルは、平成7年（1995年）に設立した「^{ぼっしよくし さん}没食子酸」と「没食子酸誘導体」および「食品添加物タラガム」の専門メーカーです。

「没食子酸」の原料は2種あります。ひとつはマメ科植物タラであり、もうひとつはウルシ科植物の虫こぶ（^{ごはいし}五倍子、右写真）です。岩手ケミカルはその2種から「没食子酸」を生産しております。

「没食子酸」は、その抗酸化性を利用し、主用途の電子材料向けのほか、ボイラー用清缶剤、食品分野では油脂類や菓子類の酸化防止剤として広く利用されています。最近では、消臭性を活かして、「ペット用品」での使用が始まりました。今後の展開が期待されるところです。

「タラガム（製品名：ホホワイトガム）」は、マメ科植物タラの種子を原料とした食品添加物の増粘剤で、冷菓・麺・ゼリー・ジャム・チーズなど、食品分野の広い範囲で使用されております。

タラガムは、「第8版食品添加物公定書」（2007年3月施行）に収載されました。これまでも天然系「既存添加物」として長い間使用されてきましたが、今般、公定書へ収載されたことで、安全な食品添加物として国から正式に認められたこととなりました。安心・安全が求められている食品業界へのPR材料として捉え、さらに販売拡大活動を進めてまいります。

また、岩手ケミカルはタラガムの非食品分野への展開にも力を入れております。新たな用途として「トイレタリー向け」で採用され、販売数量が大幅に増加しております。

ウルシ科植物の虫こぶ（五倍子）



会社の概況 (平成20年 6 月24日現在)

概 要

商 号 ダイトーケミックス株式会社
(英文名：Daito Chemix Corporation)
本社所在地 〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目 1 番 7 号
電話 06 (6911) 9310 (代表)
設 立 昭和24年12月 2 日
資 本 金 2,901,163,150円
社 員 数 250名
主な営業品目 感光性材料、写真材料、医薬中間体、
印刷材料、記録材料、その他化成品

役 員

〈取締役〉

代 表 取 締 役	村 瀬 千 弘
取 締 役	入 岡 修 一
取 締 役	二 宮 榮 規
取 締 役	新 木 隆 雄

〈監査役〉

常 勤 監 査 役	山 中 俊 彦
監 査 役	越 智 賢 三
監 査 役	桑 原 豊

〈執行役員〉

社 長	村 瀬 千 弘
執 行 役 員	入 岡 修 一
執 行 役 員	二 宮 榮 規
執 行 役 員	新 木 隆 雄
執 行 役 員	佐 藤 敏 夫

事業所

東京オフィス 〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町二丁目15番 1 号
電話 03 (3669) 0261
大 阪 工 場 〒574-0044
大阪府大東市諸福八丁目 3 番11号
電話 06 (6911) 1271
静 岡 工 場 〒437-1424
静岡県掛川市浜野3110
電話 0537 (72) 2888
福 井 工 場 〒910-3137
福井県福井市石橋町31字118
電話 0776 (85) 1841

グループ会社

日本エコロジー株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目 1 番 7 号
電話 06 (6911) 1279
(産業廃棄物の処理および化学品のリサイクル)

ディー・エス・エス株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目 1 番 7 号
電話 06 (6911) 1559
(物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負)

岩手ケミカル株式会社

〒028-1113 岩手県上閉伊郡大槌町須賀町 2 番 2 号
電話 0193 (42) 7221
(感光性材料用原料、食品添加物、その他化成品の製造販売)

DAITO CHEMIX(CHINA) CO., LTD

〒318020 中国浙江省台州市黄岩区黄岩経済開発区軽化投資区永椒路
電話 +86-576-8416-7115
(感光性材料用原料、その他化成品の製造販売)

DAITO-KISCO Corporation

〒404-220 韓国仁川広域市西区石南洞223-48
電話 +82-32-584-4646
(感光性材料の製造販売)

グループ会社拠点



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (フリーダイヤル) (その他のご照会) 0120-176-417 (フリーダイヤル)
(インターネットホームページアドレス)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
当社インターネットホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第2部
証券コード	4366



DAITO CHEMIX